

生活教養科1年 キワニスドール講習会

9月17日(火)、生活教養科1年生が、宇都宮キワニスクラブの方々のご指導のもと、「キワニスドール」の制作を行いました。

「キワニスドール」とは、目も鼻もない小さな真っ白いお人形で、病気やケガで入院中の子どもたちにプレゼントされ、子ども自身が「キワニスドール」に大好きな人やキャラクターの顔を描いたり、洋服を着せたりして傍におき、小さなお友達として治療を頑張っている子どもたちに大きな力を与えています。また、「キワニスドール」に内臓の絵を描いて医師が子どもに治療の説明をする際に使用するなど、「キワニスドール」を必要とする子どもたちが生活する病院や養護施設などに寄贈されています。

実際に人形型の布に綿を詰めてみるとバランスよく詰めるのが難しく、生徒たちは一生懸命に制作していました。今回の講習会を通して「キワニスドール」を初めて知った生徒も多く、ボランティア活動に興味を持つなど視野が広がり、生徒たちにとって温かい心遣いの活動になりました。

